

健康長寿の まちを目指して

るもいコホートピア構想



るもいコホートピア構想

コホートピアを目指す 健康長寿のまちづくりその⑦

「介護・疾病リスク早期検出調査事業 の意義と期待」

日本人の平均寿命が延び、高齢社会に適した医療への対応を急ピッチで進めなければならぬ状況です。

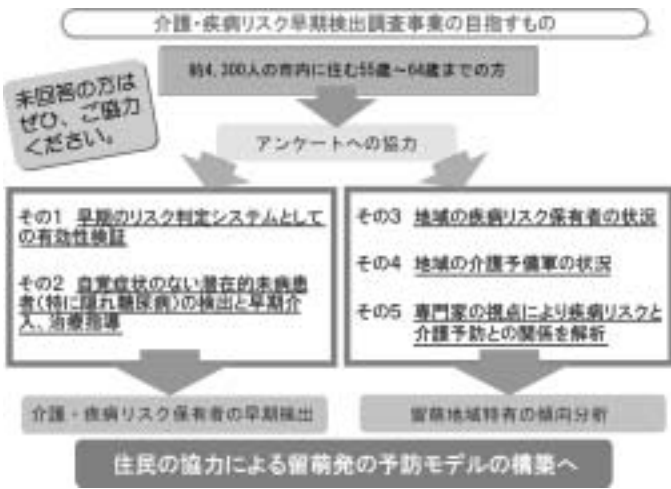
また、高寿命化により、病気の種類が変わり、生活習慣病というやっかいな病気については、これまでも紙面を使って皆さんにお話ししてきたところです。

生活習慣病という大敵に備える最も近道は、何といっても健診です。健診で早期に健康状態に気づき、重篤化する前に早めに対処することが重要です。

しかしながら、そうは言っても自覚症状が見られない状況では、なかなか忙しさなどあっても、健診に足を背けがちとなってしまう、ある日突然、心疾患、脳疾患、糖尿病による合併症など、家族の介護が必要となる状況がとても懸念されます。



留萌市では、本年度から予防医療に向けた研究体制を整備し、るもいコホートピア構想の下、住民の健康づくりを進める中において、本格的な大規模調査研究事業として現在、「介護・疾病リスク早期検出調査事業」を実施しています。



この事業は、健診受診率が低い状況の中、65歳になる前の世代の方々に、疾病リスクを検出するアンケートに協力していただくことで、気になる方を検査へ誘導し、潜在的な未病患者の検出と、早期介入を通じて、アンケートの有効性を実証するものです。

また、疾病リスク保有者や、介護予備軍の状況などをしっかり調査した上で、地域特有の傾向分析を専門的な角度から調査研究するものです。

市立病院の笹川裕院長を始め、地域の医療課題を克服しようという多くの研究者の協力によって、この事業を厚生労働省に提案し、採択されました。皆さんの協力により実のある事業となつて、留萌から新たな予防モデルを発信できるものと期待しています。

ふまねっと無料体験会のお知らせ

歩行機能の改善と脳の働きを向上させる今話題の運動です!

- ◆日時 12月4日(金)、15日(火) 9:00～10:30
- ◆場所 るもい健康の駅
- ◆定員 20人

問 申 るもい健康の駅 ☎ 43・8121



るもい健康の駅便りをご覧になりましたか? 毎月25日に発行です!



先日、るもい健康の駅に、高橋はるみ知事が訪れました。知事も、予防医療の取り組みや、気軽に健康チェックできる健康体験室に大変興味を示され、留萌市民の健康と安心を守る施設にエールをいただきました。

